

第2学年2組 体育科学習指導案

指導者 山本 晃子

1 単元名 表現リズム遊び

2 運動の特性

(1) 一般的特性

軽快なリズムに乗って思い切り踊ったり、身近な生活の中から題材を見付けて、そのものになりきって踊ったりしながら、体を動かすことが楽しい運動遊びである。

(2) 子どもから見た特性 省略

3 仮説と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究仮説

子どもが健康な生活を送ったり運動に意欲的に取り組んだりするための様々な学習の手立てを工夫すればよいだろう。

(2) 学習の手立て

<手立てⅡ>

一人一人の能力に応じた学習を進めるための手立てを工夫すればよいだろう。

① 安心して学習に取り組むための選曲の工夫

本学級には、音楽に合わせて体を動かすことを好む子が多いが、それを苦手としたり、振りは難しいと感じたりする子もいる。その反面、振りが決まっているものは好きだが、自由に踊ることには恥ずかしさを感じている子も若干名いる。そこで、軽快な曲を流しリズムに合わせて2人組で行うダンスウォーミングアップを取り入れることで心と体を開放し、その後のリズム遊びに生き生きと取り組めるだろうと考えた。ダンスウォーミングアップでは、2人組を意識した活動を多く取り入れていく。そうすることで、一人の時よりもさらにダンスウォーミングアップを楽しむことができるだろう。また、リズム遊びでは、円形コミュニケーションのように、教師が主導でのフォークダンスを選曲の一つとして取り上げていく。子どもたちは1年生の音楽の学習で、フォークダンスの「ジェンカ」を踊っており、簡単な振りを友達と繰り返し踊っていく中で、リズムに合わせて体を動かしたり、みんなで踊る一体感を感じたりして楽しさを味わっている。その実態を踏まえて、フォークダンスの一つである「タタロチカ」をリズム遊びの一曲目を選択する。「タタロチカ」はロシアの伝統的な踊りで、一重円を作り、軽快なリズムと易しいステップの繰り返しで構成される簡単なフォークダンスである。友達と動きを合わせながら踊る中で、リズムに合わせて踊る楽しさを味わわせたい。また、自由に踊ることに対し迷ってしまう子にとっては、教師が主導し声を掛けることで、安心してリズムダンスに取り組めるだろう。ステップの際はいろいろな動物に変身してみるよう声を掛け、自由性をもたせるとともに、その後の表現遊びにも動きを生かしていけるようにしたい。軽快なステップに合わせて友達と掛け声をかけながらリズムに乗って踊ることで心と体が解放され、その後の表現遊びでも子どもたちは生き生きと活動することができるだろう。

タタロチカを踊った後のリズムあそびの曲は、子どもたちのよく知る曲を選択することにする。軽快でアップテンポな曲や、人気のある曲などで、引き続き楽しい雰囲気の中で自由に踊れるようにしたい。

	特徴・曲名
フォークダンス	・軽快なリズムと簡単なステップが特徴。 「タタロチカ」
ロック	・軽快なアップテンポのリズム。 いきものがたり「じょいふる」 ・子どもになじみのある軽快な曲 「Mickey Mouse March」 ・ビートが強く、曲調に変化がある。 「1-2-3-4 ギミー・サム・モア」
サンバ	・やや速いテンポで「ン・タッタ」の2拍の中に変化があるリズム。 「サンバ DE ジャネイロ」 「サンバ・E・ゴル」

② イメージカルタの活用

子どもたちは身近に感じられる動物などになりきって踊ることを楽しみにしている。個人のもつイメージを十分に膨らませるため、まずは個人でのイメージバスケットを作成する。教室に豊富に図鑑や動物の本を置いておき、朝の読書活動の時や、休み時間など手軽に動物の本を手に入れるような環境を工夫したい。また、映像資料などを多く見せることで、個々の動物のより具体的な動きを捉えられるようにする。それを元に個人のイメージバスケットを作ることで、表現遊びに繋がるような動きや様子を見つけていくことができるだろう。さらにクラスみんなで共有するために、クラスで作成したイメージバスケットを体育館に掲示しておく。そうすることにより、自分が表したい動きに近いイメージを探し、のびのびと表現遊びに取り組めると考える。

実態ではカルタがあった方が学習を進めやすいと考えている子と、カルタのイメージで踊るより、思いつくまま自由に踊りたいと答えた子が半々であった。カルタがあると安心すると答えた児童にとっては、カルタがあることによりさまざまな動きに挑戦することができ、動きに広がりももてるであろう。また、カルタは無くても構わないとした子にも、動きの幅や更にイメージを広げることができるようなカルタは有効であると考え。そこで、本単元では抽象的な言葉で動きを示したイメージカルタを活用する。カルタをめくり、たくさんのお話を作りながら、楽しく踊る中で、子どもたちの自由なイメージからさまざまな動きを身に付けさせていきたい。

子どもたちにどのようなものに変身したいか自由に書かせたところ、具体的な動物を挙げる子も多かったが、「速く動くものになりたい」「ジャンプをしてみたい」などの動きのイメージを答えた子も多くいた。そこで、体育館全体を「ふしぎなどうぶつワールド」に見立て、「素早く動く生き物」「飛び跳ねる生き物」「ぐにゃぐにゃと動く生き物」「軽い動きの生き物」などのイメージごとに色を分けておく。そして、カルタも同様に色分けしておくことで、自分がより踊りたいものに近いイメージの動物になるカルタを選択できるように工夫していきたい。

イメージカルタには具体的な動物名を書くのではなく、それぞれの動物が起こす行動を想像できるようなものを用意する。「〇〇する〇〇」のように抽象的なイメージを書いておくことで、自由な発想が生まれるであろう。カルタをめくりながら自分がなりたいたいイメージの動物に変身するとともに、ペアの友達と簡単なお話をつくり上げながら踊ることができるだろうと考える。

③ かかわり合いを大切にしたい2人組

本学級の子どもたちは休み時間に遊ぶ際、男女ではっきりと遊び方が分かれてしまう。また、2人組を自由に作らせると、同性で組むことを好む子が多い。表現・リズム遊びでは「だれとでも仲よく踊る」ことを目標としたい。そこで、本単元では、男女の2人組を取り入れていく。2人組で学習を進めることで、自分一人で踊ることに不安を感じている児童も安心して学習に取り組めるだろう。2人組は学習の前に毎時違うペアになるよう決めておく。2人組を組む際は、だれとでも楽しく踊ることのできる人間関係を目指すとともに、リズムに乗って楽しく踊ることができている子は、一人で踊ることに不安を感じている子と組ませるなど教師が配慮をしていく。また、学習の後今日のペアにどんな動きがよかったかお互いに伝え合うことを伝えておく。毎時2人組を変えて踊り、様々な友達とかかわり合いながら学習を進めていくことで、新しい動きや

友だちのよさに気付き、自分の動きにも広がり生まれるであろうと考える。

また、表現もリズム遊びも互いの踊りを見合う場面を大切にしていきたい。友達の踊りを見る活動を通して様々な動きを共有し、さらに動きの財産を増やしていくことができると考える。そこで表現遊びの学習では、クラスを二つに分けて踊る際、ペアグループを作り、そのグループの踊りを意識して見るように声をかけていく。必ず踊りを見てもらうことを保証することで、子どもたち一人一人が見ている人を意識した動きを考えていこう。また、見せ合いの活動の前には、見るポイントを明確に押さえておく必要がある。学習の中で子どもたちから出てきたよい動きを「動きの宝箱」として掲示物にして残すことで、具体的なよい動きに気が付けるだろうと考えた。また、リズム遊びではよりリズムに乗りやすくなると思う。

<p>表現遊び動きの宝箱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おへそを上下左右に動かして ・広く場所を使って ・動きに強弱をつけて ・かみの毛の先までなりきって ・体をねじる、回る、這うなど動きに変化をつけて

<p>リズム遊びの動きの宝箱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身で弾んで ・おへそを上下左右に動かして ・リズムをとって ・かみの毛の先までのりのりに
--

4 学習のねらい

(1) 学習のねらい

- 表現・リズム遊びに進んで取り組もうとしている。
- 題材やリズムの特徴を知るとともに、それに合った動きを選んだり、友達のよい動きを見つたりしている。
- 運動を楽しく行い、題材になりきったり、リズムに乗ったりして全身で踊ることができる。


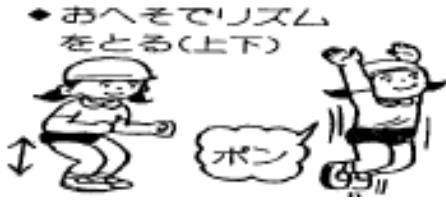
(2) 学習の道すじ

	1	2	3	4	5 (本時)	6
0	オリエンテーション	<p>リズム遊び</p> <p>リズムカルな曲に合わせて全身で弾んで踊り、リズム遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダンスウォーミングアップ <ul style="list-style-type: none"> ・二人組での動き (ミラーごっこ・コーヒークップ・体でじゃんけん) ○2～3曲をメドレーで流し、リズムに乗ってみんなで踊る。 <ul style="list-style-type: none"> ・タタロチカ ・ロック調のアップテンポな曲 ・サンバなど2曲目と曲調を少し変えた曲 <p>表現遊び</p> <p>いろいろな動物になりきって踊り、表現遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○二人組でカルタをめくり、思いつくままに自由に踊る。 ○踊ったカルタの中から、一番気に入った動物を選び、簡単なお話をつくって踊る。 				
4 5						
関・意・態	○	○				
思・判			○		○	
技能				○		○

6 評価規準（おおむね満足できる状況）

運動に対する関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
○表現遊び、リズム遊びに進んで取り組もうとしている。 ○誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ○運動する場の安全に気を付けてようとしている。	○表現遊びやリズム遊びの行い方を知るとともに、動きを広げるためのいろいろな動きを見付けている。 ○題材やリズムの特徴を知るとともに、それに合った動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。	○表現遊びでは、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ることができる。 ○リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ることができる。

7 学習活動と支援

	学習内容と活動	教師の支援・指導・評価
はじめ	オリエンテーション ○学習のねらいと進め方を知る。 ○学習の約束を決め、安全やマナーについて知る。 ○イメージバスケットを作成する。 ○タタロチカの踊り方を知る。 ○学習カードの使い方を理解する。	
なか	1, リズム遊びをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 軽快なリズムに乗って、全身で弾んだり、友達と一緒に踊ったりして、リズム遊びを楽しもう。 </div> ダンスウォーミングアップ 体でじゃんけん ミラー遊び コーヒーカップ 1 曲目「タタロチカ」 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> 2 曲目 ロック調のアップテンポな曲 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	○心と体を解放するために体を大きく使うよう助言する。 ○リズムに乗りながら楽しめるよう軽快な曲をかける。 ○心と体を解放するために、円になってみんなで踊り、楽しい雰囲気をつくる。 ○リズムに乗ってうまく踊ることができない子には、一緒に踊りながら動きを確認する。 ○表現遊びにつながる動きを意識できるよう、ステップで移動するときにはいろいろな動物に変身してみるよう声をかける。 ○体育館の一か所に固まってしまうぬよう、広く場を使うよう助言する。 ○気持ちを高めるために、軽快でリズムカルな曲を流す。 ○恥ずかしくて踊れない子にはペアの友達のまねをするよう声をかける。 ○動きが単調なペアには教師が寄り添い一緒に踊るようにする。 ○十分に楽しんでいる2人組やよい動きを称賛し、自信をもたせる。

3 曲目 サンバなど 2 曲目と曲調を少し変えた曲

◆おへそでリズムをとる(左右)



○曲調が変わったときにその曲の特徴のよさに合った動きができている子を称賛し、みんなでまねしてみるよう促す。

◇リズム遊びに進んで取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)

◇リズムの特徴に合った動きを選んでいる。(思考・判断)

◇リズムに乗って踊ることができる。(技能)

○動きが途中で止まってしまう子には、同じ動きを繰り返したり、ステップを入れたりするよう声をかける。

○楽しく踊っている子やよい動きをしていた子を紹介し、みんなでまねをして踊ってみよう促す。

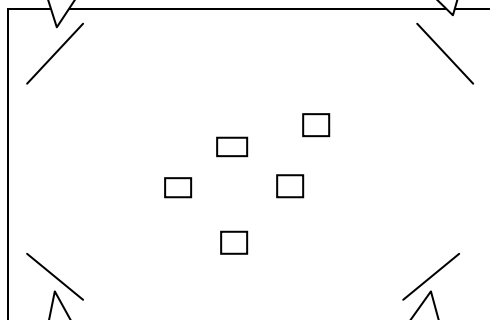
2. 表現遊びをする。

いろいろな動物になりきって、思いつくままに踊ったり、友達と一緒にかんたんな工夫を加えて踊ったり、見せ合ったりして楽しもう。

毎時変わる 2 人組でカルタをめくり思いつくままに自由に踊る。

すばやく動く動物

ぐにやぐにや動く動物



軽そうに動く動物

重そうにゆっくり動く動物



◇表現遊びに進んで取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)

○カルタをめくったらすぐに動き出せるように声をかけ、どんな動きでも認める雰囲気を作る。

○気持ちが途切れることがないように、カルタからカルタに移動するときは、その動物のまま移動できるよう助言する。

○恥ずかしくて動けない子には、ペアの友達の動きをまねしながら一緒に踊るよう助言したり、教師が寄り添い一緒に踊ったりするようにする。

◇なりきるものの特徴に合った動きを考えている。(思考・判断)

◇なりきる動物の特徴をとらえ、全身で踊ることができる。(技能)

○動物になりきっていたり、特徴をとらえて踊っていたりする 2 人組を称賛し、動きを参考にするようにする。

○お話のイメージをもちやすいように、「事件をおこしてみよう」と声をかける。

○特徴が伝わるよう、見ている人に何をまねしているのかわかるにはどうしたらよいか助言する。

	<p>3, 一番やりたい動きを見付け、友達と簡単なお話をつくって踊りを見せ合い、友達のよい動きを見付ける。</p> <p>4, 学習の振り返りをする。</p>	<p>○どのグループもよかったところを見付けてもらえるよう、あらかじめペアグループをきめた上でクラスを二つに分けて見せ合う。</p> <p>◇友達のよい動きを見付けることができる。 (思考・判断)</p> <p>○一番楽しかったイメージを友達と一緒に踊るともっと楽しさが広がることを助言する。</p> <p>○よい動きや、おもしろい動きを紹介し合い、みんなで踊ってみる。</p> <p>○学習カードに記入するよう声かけをする。</p>
<p>お わ り</p>	<p>まとめをする。</p> <p>○リズムや題材の特徴をとらえ全身を使い踊ることができたか。</p> <p>○なりきって踊ることができたか。</p> <p>○誰とでも仲よく学習を進めることができたか。</p> <p>○ルールを守り、安全に気を付けながら学習することができたか。</p>	